

熊本都市バスについて

1 利用者アンケート調査結果について

【調査の目的】

市営バスと都市バスの比較を通じて、移譲後の運行についてモニタリングするとともに、サービスの向上及び乗客数の増加を図る。

(1) 調査概要

調査期間：平成22年8月11日(水)～27日(金) 計13日間

調査時間帯：9:00～19:00

調査場所：熊本都市バス車内

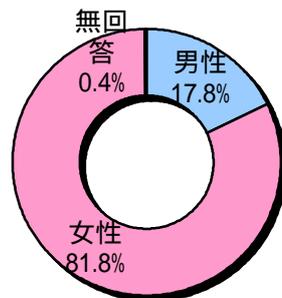
対象路線：子飼渡瀬線、大江城西線(H22.4.1に移譲された路線)

調査方法：調査員による聞き取り調査

調査サンプル数：512人

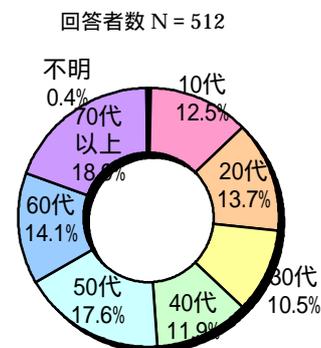
(2) サンプル属性

性別



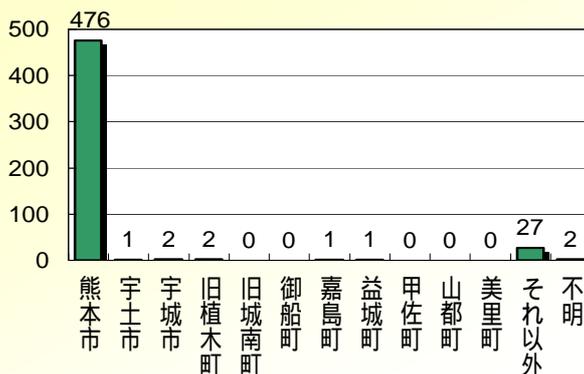
性別		
	回答数(票)	割合
男性	91	17.8%
女性	419	81.8%
無回答	2	0.4%
合計	512	100.0%

年齢



年齢		
年代	回答数(票)	割合
10代未満	2	0.4%
10代	64	12.5%
20代	70	13.7%
30代	54	10.5%
40代	61	11.9%
50代	90	17.6%
60代	72	14.1%
70代以上	97	18.9%
不明	2	0.4%
合計	512	100.0%

住所

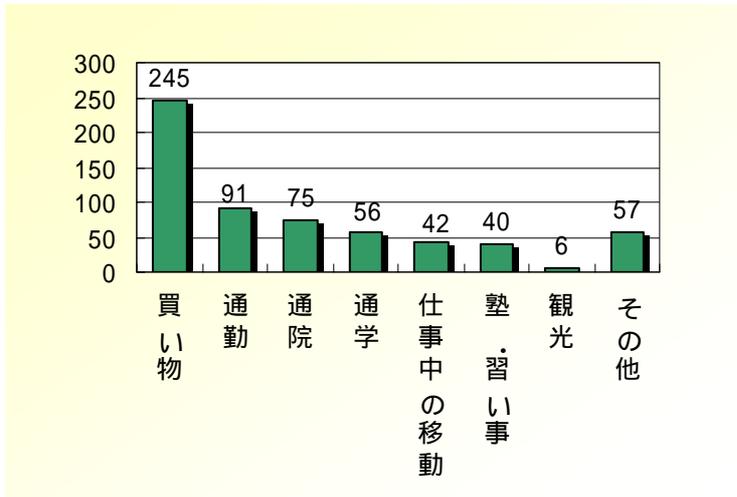


住所		
地区	回答数(票)	割合
熊本市	476	93.0%
宇土市	1	0.2%
宇城市	2	0.4%
旧植木町	2	0.4%
旧城南町	0	0.0%
御船町	0	0.0%
嘉島町	1	0.2%
益城町	1	0.2%
甲佐町	0	0.0%
山都町	0	0.0%
美里町	0	0.0%
それ以外	27	5.3%
不明	2	0.4%
計	512	100.0%

(3) 熊本都市バスの利用状況

利用目的

利用目的は、買い物が最も多く、次いで通勤、通院の順となっている。



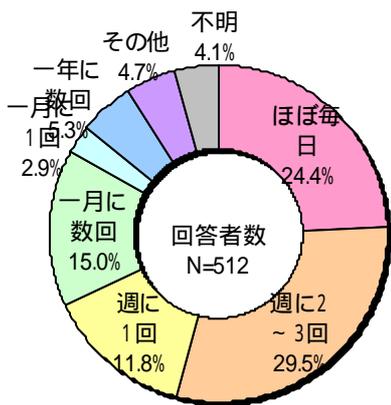
利用目的		
	回答数(票)	割合
買い物	245	40.0%
通勤	91	14.9%
通院	75	12.3%
通学	56	9.2%
仕事中の移動	42	6.9%
塾・習い事	40	6.5%
観光	6	1.0%
その他	57	9.3%
不明	0	0.0%
計	612	100.0%

(複数回答)

図1 利用目的(複数回答)

利用頻度

利用頻度は、週に2~3回の割合が最も高く、次いで、ほぼ毎日、月に数回の順で高くなっている。

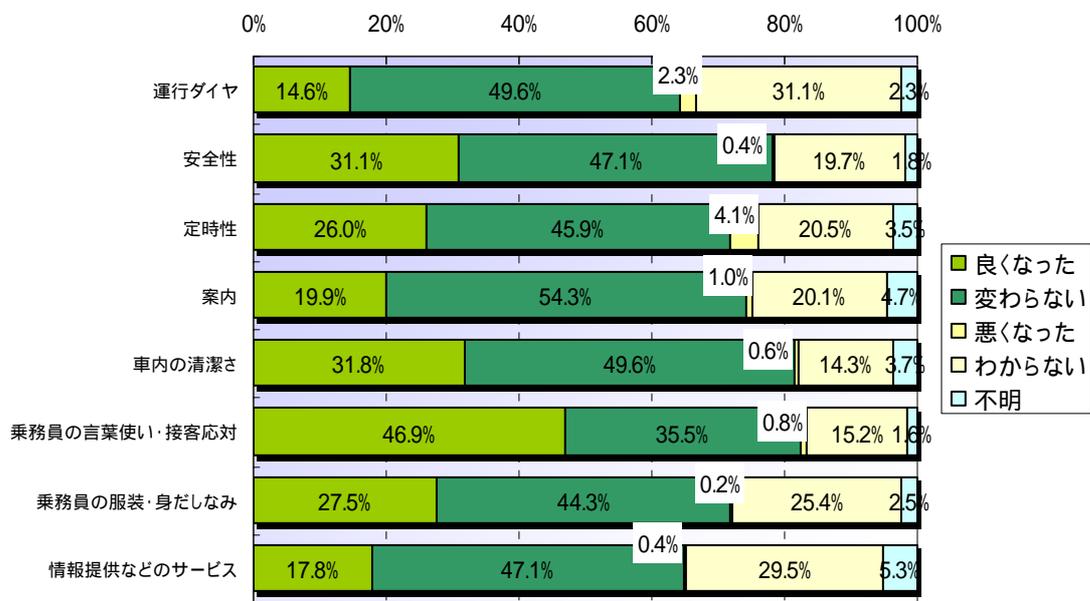


利用頻度		
	回答数(票)	割合
ほぼ毎日	125	24.4%
週に2~3回	151	29.5%
週に1回	72	14.1%
月に数回	77	15.0%
月に1回	15	2.9%
一年に数回	27	5.3%
その他	24	4.7%
不明	21	4.1%
計	512	100.0%

図2 利用頻度

(4) 熊本都市バスと市営バスの比較

熊本都市バスと市営バスの比較では、「乗務員の言葉使い・接客対応」、「車内の清潔さ」、「安全性」に関しては、「良くなった」との回答が3割以上となっている。
 また、全ての項目に関して「以前と変わらない」と回答した人が5割前後となっており、「悪くなった」との回答は概ね5%以下となっている。



	運行ダイヤ		安全性		定時性		案内	
	回答数(票)	割合	回答数(票)	割合	回答数(票)	割合	回答数(票)	割合
良くなった	75	14.6%	159	31.1%	133	26.0%	102	19.9%
変わらない	254	49.6%	241	47.1%	235	45.9%	278	54.3%
悪くなった	12	2.3%	2	0.4%	21	4.1%	5	1.0%
わからない	159	31.1%	101	19.7%	105	20.5%	103	20.1%
不明	12	2.3%	9	1.8%	18	3.5%	24	4.7%
計	512	100.0%	512	100.0%	512	100.0%	512	100.0%
	車内の清潔さ		乗務員の言葉使い・接客対応		乗務員の服装・身だしなみ		情報提供などのサービス	
	回答数(票)	割合	回答数(票)	割合	回答数(票)	割合	回答数(票)	割合
良くなった	163	31.8%	240	46.9%	141	27.5%	91	17.8%
変わらない	254	49.6%	182	35.5%	227	44.3%	241	47.1%
悪くなった	3	0.6%	4	0.8%	1	0.2%	2	0.4%
わからない	73	14.3%	78	15.2%	130	25.4%	151	29.5%
不明	19	3.7%	8	1.6%	13	2.5%	27	5.3%
計	512	100.0%	512	100.0%	512	100.0%	512	100.0%

図3 熊本都市バスと市営バスとの比較（項目別）

	総合計	
	回答数(票)	割合
良くなった	1,104	27.8%
変わらない	1,912	48.2%
悪くなった	50	1.3%
わからない	900	22.7%
計	3,966	100.0%

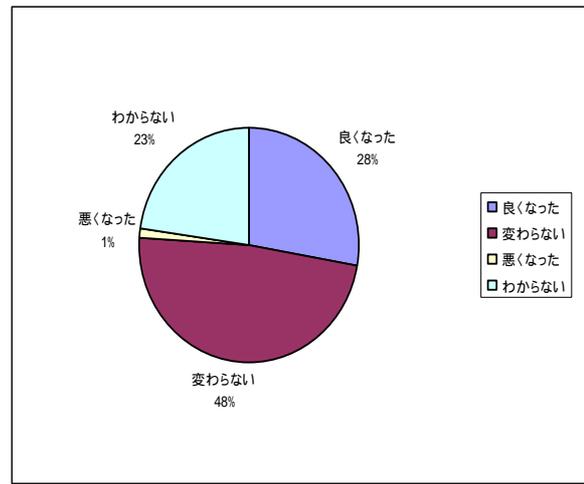


図4 熊本都市バスと市営バスとの比較 (項目別の総合計)

(5) 熊本都市バスへの主な意見

順位	項目	件数	主な内容
1位	運行本数拡充	33	もっと運行本数を増やしてほしい。
2位	早発・遅着	13	時刻表通りにバスが来ない。
3位	運転手の対応(悪い)	9	運転が荒く、対応が悪い。
4位	運転手の対応(良い)	4	親切にいただいた。
4位	運行路線拡充	4	乗り入れ路線を増やしてほしい。

2 市営バス路線の移譲状況について

(1) これまでの経緯

熊本市においては、「熊本市におけるバス交通のあり方検討協議会」からの答申を受けて、市営バス路線については、平成28年4月までに民間バス事業者に全面移譲する方針を表明している。

この決定に基づき、昨年度策定した「交通事業経営健全化計画」における路線移譲計画においては、平成24年4月までに上熊本営業所管轄路線を、平成28年4月までに小峯営業所管轄路線を移譲することとしている。

(2) 移譲前倒しについて

今後の計画的かつ効率的な移譲に向け、サービスの維持、運行ロスの軽減及び人員体制の確保などについて協議検討を進めたところ、平成23年4月に上熊本営業所管轄路線の一括移譲が可能となったため、路線移譲計画を1年前倒しするものであり、これに伴い全面移譲についても1年前倒し(平成27年4月まで)とするもの。

1) 現況

		20年4月1日現在	21年4月1日現在	22年4月1日現在	23年4月1日見込
熊本市バス	路線数	/	7路線	11路線	16路線
	系統数		20系統	33系統	45系統
	総延長		152.7km	233.7km	317.6km
	職員数		50名	75名	122名
	車両数		内運転手40名	内運転手65名	内運転手104名
熊本市交通局	路線数	23路線	17路線	15路線	9路線
	系統数	88系統	66系統	56系統	42系統
	総延長	727.30km	565.7km	498.3km	416.2km
	職員数	265名	222名	199名	精査中
		(内運転手219名)	(内運転手181名)	(内運転手163名)	
		職員163名・嘱託56名	職員150名・嘱託31名	職員130名・嘱託33名	
車両数	161台	122台	105台	81台	

2) スケジュール

ア 平成23年4月に移譲する路線(6路線)

- ・池田京町線、花園柿原線、昭和町線、上熊本線、上熊本車庫線、池田健軍線

イ 平成27年4月までに移譲する路線(9路線)

- ・秋津健軍線、東町団地線、小峯京塚線、熊本駅県庁線、渡鹿長嶺線、島崎保田窪線、帯山線、健軍長嶺線、熊本駅長嶺線